

# 令和4年度 芸術鑑賞会

## 学校寄席

新型コロナの影響で2年間延期されていた芸術鑑賞会「学校寄席」を、令和4年10月25日(火) 大垣市民会館で開催し、全校生徒約840名が古典芸能を楽しみました。

### 【プログラム】

- |        |         |            |        |
|--------|---------|------------|--------|
| 1 講談   | 一龍齋 貞橘  | 3 色物 (曲ゴマ) | 三増 紋之助 |
| 2 上方落語 | 笑福亭 岐代松 | 4 落語       | 桂 小文治  |



## 芸術鑑賞会 生徒の感想より

●初めて寄席を見ましたが、想像以上に楽しかったです。見る前はもっと堅苦しい感じだと思って、すこし構えてしまいましたが、始まってからは楽しい雰囲気ので肩の力を抜いてリラックスして楽しむことができました。以前までは講談や落語の違いが分からなくて同じものだと思っていましたが、それぞれ違って楽しみ方も様々で面白かったです。(3年)

●個人的には歴史が大好きなので、初めに「三方ヶ原」と聞いてすぐに入り込むことができました。「義経と弁慶」の話も楽しめた。これからまだまだ教養を深めていきたい。(3年)

●高校で初の芸術鑑賞会で、全部純粋に楽しめました。「講談師・好男子」のギャグのお陰で頭にすごく名前が残りました。コマの芸が楽しかったし、トトロのコマが可愛らしかったです。(3年)

●見る前は「落語」と聞いてつまらなそう、眠くなりそうと思っていました。でも一人目の方の噺を聞いているときにすごく面白いと思いました。こんな機会が無かったらきっと落語に触れることがなかったので、とても良い経験になりました。(2年)

●最後の落語の噺(小間物屋政談)では、気づいたら夢中になっていて、引き込まれていく感覚を味わえました。新鮮な感覚でした。(2年)

●初めは難しそうだと思っていたけど、気づいたら話に引き込まれていてとても楽しかった。コマ回しの芸もとても上手ですごく盛り上がった。一緒に手拍子したり、笑ったり、みんなで作り上げている感じがとても面白かった。(2年)

●落語では、話が自然と頭に入ってくるような話し方や、所々飽きさせないためのリズム、冗談を交えることによる話の盛り上げ方が大変上手だと感心した。落語の敷居が下がったのがとても良かった。(2年)

●最初の一龍齋師匠がこちら側に語りかけながら高校生と話す感じで親しみやすかった。笑福亭岐代松師匠の話は知っている噺であったが聞き入ってしまった。曲コマはあれだけ盛り上げることができるのに感心した。最後の桂小文治師匠の落語は難しくなく、所々に笑えるポイントもあって、表現力の高さに驚いた。(1年)

●とてもおもしろかった。道具を使ってたいたり特有の話し方など、初めて間近で見て、すごいなと思った。四つの演目とも全部に違った面白さがあったって見て全然あきなかった。話し方だけですごく引き込まれた。(1年)

●独特の口調からなる独特の世界観を、たった一人で作り上げる落語が、ここまで興味深いものだとは思いませんでした。弁慶と義経の話はとてもよく知っていたものですが、本で読むだけでは味わえなかった迫力やら風情やらが感じられ、落語の魅力というものを感心しました。色物についてはただただ「すごい」の一言です。良いものを見させていただきました。(3年)

●昔の文化に触れられるととてもいい機会だなと思いました。日本の文化ってこんなに素晴らしいものなんだな～と思い、とても感動しました。私たちはこれらの日本の文化を継承していく立場なので、絶やさないように大切にしたいです。(1年)

